

平成 18 年 5 月 10 日
消費・安全局表示・規格課

食品表示 110 番の実績について

1. 食品表示 110 番への 4 月(4 月 1 日～4 月 30 日)の問い合わせは、1,337 件であった。

2. 問合せのあった 1,337 件の内訳は以下のとおり。

区分 品目別	18 年 4 月 分				(参考)			
			18 年度累計		17 年度計		16 年度計	
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率
生鮮食品	221	17%	221	17%	2,844	18%	2,854	19%
食肉	39	3%	39	3%	677	4%	615	4%
青果物	79	6%	79	6%	1,042	6%	1,023	7%
水産物	73	5%	73	5%	905	6%	941	6%
生鮮全般	30	2%	30	2%	220	1%	275	2%
加工食品	728	54%	728	54%	7,982	49%	6,542	43%
食肉加工品	30	2%	30	2%	422	3%	196	1%
米麦	268	20%	268	20%	3,982	25%	4,472	29%
精米	233	17%	233	17%	3,495	22%	4,003	26%
その他	120	9%	120	9%	1,348	8%	1,294	9%
合計	1,337		1,337		16,156		15,162	

(注) ラウンドの関係で率(%)の計は一致しない場合がある。

(参考)開設(平成14年2月15日)以降の問合せ件数:44,604件。

3. 寄せられた意見の例

- ・ 冷凍いくら醤油漬の賞味期限等の改ざんについてもっと厳格な罰則をかけるべき。また、偽装行為を行っても嚴重注意だけで済ますべきではない。
- ・ ペットボトル飲料、牛肉由来成分を使用している全ての加工品、大豆加工品、コンビニおにぎりの海苔等について原料原産地表示を義務付けるべき。
- ・ 消費者に提供される食品に使用される油脂の種類を表示する制度を構築すべき。